

神奈川県

## 保険医新聞

発行所 神奈川県保険医協会 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 (TSプラザビルディング2階)  
電話045-313-2111(代表) FAX 045-313-2113 横浜中央郵便局私書箱第319号  
購読料 一部300円(会員の購読料は会費に含まれています) 発行人 田中 麻衣子

## 新春特集号

あけましておめでとうございます



## 箱根 山のホテルにて

相模原市南区 岩崎 雅充

カメラ: NIKON Z8 レンズ: NIKKOR Z 85mm f/1.8 S



## 新年のごあいさつ

理事長 田辺 由紀夫

新年明けましておめでとうございます。

一昨年の衆院選、昨年の  
参院選の結果、両院とも与  
党が過半数を割り、政権運

営がより注目を浴びるようになっています。現在、衆院は辛うじて与党が過半数を占めていますが、野党の主張も取り入れなければ国会審議が進まないのが現状です。多様な意見が反映される反面、つまづき的で中途半端になりかねないという指摘もあります。高市首相になってまだ2ヶ月余、もう少し様子を見てみないと評価はできないと考えます。

さて、このような政治状況をつくった要因を考えると、最も大きいのは物価高ではないでしょうか。誰もが生活する上に必要な食料やエネルギーを中心に行なうべきながれが続き、実質賃金対前年比が連続してマイナスを記録していれば、国民の不満が高まるのは当然です。その不満が過去2回の国政選挙に表れたと言つてよいでしょう。

物価高の影響を受けているのは医療界も例外ではなく、医療機関の経営状況は厳しく深刻であることは周知の通りです。このままでは、地域医療を支える開業医や中小病院が閉院し、医療体制が崩壊することが危惧されます。当協会は従前より医療費の総枠拡大を訴えてきましたが、昨年来、各医療団体も緊急の支援金や診療報酬の大増を掲げて様々な運動を展開してきたことは、皆様もご存知のことと思います。果たして、その成果はどうだったのでしょうか。その他、依然としてトラブルの続くマイナ保険証、OTC類似薬の保険外化、高齢者窓口負担の引き上げ、金バラ価格高騰による原価割れ、治療材料・衛生用品の値上げ、かかりつけ医機能報告制度等々、本年も問題山積ですが、会員の皆様のお役に立てるよう運動ならびに情報提供をしてまいります。引き